

砂川東支部女性部会研修

春を呼ぶコンサート



2016.3.8 (火) 15:00 開演

テレモアコンサートホール 武蔵野

恐れ入りますが、コンサート中は携帯電話の電源をお切りくださいますようお願い申し上げます。

プロフィール

〈profile〉

砂川東支部女性部会研修として演奏会を10回にわたり開催させていただいてまいりました。今回は、わが国オペラ界の名花として人気を博しておられます高橋薫子さん、そして近年、益々国際的評価を高めておられるピアニストの久元祐子さんです。

セレモアコンサートホール常設の名器で、お二人の演奏をお楽しみいただきながら、寒さを吹き飛ばし春を呼ぶようなあたたかいひとときをご一緒できましたら幸いです。

プログラム

〈program〉

トロイメライ シューマン
Schumann

クーペルヴィーザーワルツ シューベルト
Schubert

ワルツ ブラームス
Brahms

「竹とんぼに」 (詩：岸田裕子 曲：木下牧子)

「このみち」 (詩：金子みすゞ 曲：伊藤康英)

ノクターン 遺作 ショパン
Chopin

ノクターン op15-2 ショパン
Chopin

小犬のワルツ ショパン
Chopin

「ラ・ボエーム」(フッチーニ)より ”ムゼッタのワルツ”

「椿姫」(ヴェルティ)より ”ああ、そは彼の人か～花から花へ～”

高橋 薫子 (ソプラノ)



国立音楽大学大学院修了。文化庁オペラ研修所修了。
没後200年記念国際モーツァルト声楽コンクールで
アンナ・ゴットリーブ賞を受賞しウィーンフィルと共演。
91年からミラノ留学。「ドン・ジョヴァンニ」「セビリアの理髪師」
「ルチア」「愛の妙薬」「ロメオとジュリエット」「ラ・ボエーム」
「リゴレット」「夢遊病の女」等多数のオペラ、宗教曲、第九など
オーケストラとの共演においても高い評価を得ている。
五島記念文化賞オペラ新人賞、モービル音楽賞洋楽部門奨励賞、
ホテルオークラ音楽賞などを受賞。
藤原歌劇団団員。

久元祐子 (ピアノ)

東京藝術大学音楽学部(ピアノ専攻)を経て
同大学大学院修士課程を修了。

ウィーン放送交響楽団、ラトビア国立交響楽団、
読売日本交響楽団、新日本フィル、ベルリン弦楽四重奏団など、
内外のオーケストラや合奏団と多数共演。音楽を多面的に捉えることを目指したレクチャー・リサイタルは
朝日新聞天声人語で紹介される。歴史的楽器を用いての演奏会や録音にも数多く取り組み、
それぞれの時代の中で作曲家が求めた響きと美学を追及する。2012年、2014年には
イタリア国際モーツァルト音楽祭に招かれリサイタルを開催。その模様はイタリア全土に放映され好評を博す。
CD「優雅なるモーツァルト」はレコード芸術特選盤・毎日新聞CD特薦盤に選ばれる。
著書に「モーツァルトのピアノ音楽研究」(音楽之友社)など。他にもCD著書多数。
国立音楽大学准教授 ベーゼンドルファーアーティスト セレモアコンサートホール武蔵野顧問
久元祐子ウェブサイト <http://www.yuko-hisamoto.jp/>

